

施設概要

- 施設名称 所沢市西部クリーンセンター
- 所在地 埼玉県所沢市林一丁目320番地の1
- 敷地面積 14,039.36m²
- 建築面積 5,126.9 m²
- 延床面積 8,897.36m²

焼却施設

- 構造 鉄骨一部鉄筋コンクリート
- 工期
 - 新設工事 昭和62年12月～平成元年3月
 - 排ガス高度処理施設改造工事 平成11年2月～平成13年3月
 - 基幹的設備改良(長寿命化)工事 平成26年9月～平成29年3月
- 工事費
 - 新設工事 2,210,000,000円
 - 排ガス高度処理施設改造工事 4,184,250,000円
 - 基幹的設備改良(長寿命化)工事 3,434,400,000円
- 炉形式 全連続燃焼式流動床炉
- 処理能力 147t/日(73.5t×2炉)
- 排ガス基準値

測定項目(単位)	法令規制値	自主基準値
ばいじん(g/m ³)	0.15以下	0.03以下
硫黄酸化物[SO _x]	K値=9	K値=7
塩化水素[HCl](mg/m ³)	200以下	200以下
窒素酸化物[NO _x](ppm)	250以下	150以下
ダイオキシン類(ng-TEQ/m ³)	5以下	0.1以下

プラスチック処理施設

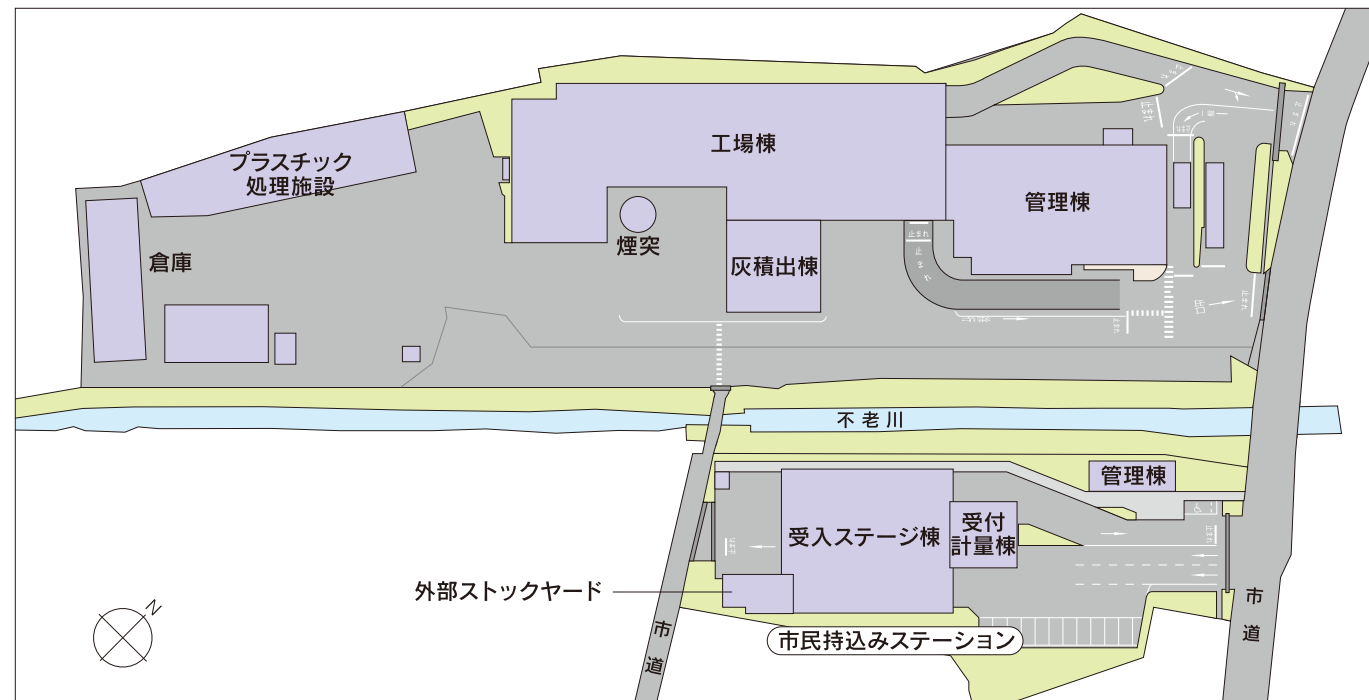
- 工期 平成15年4月～平成15年6月(改修)
- 処理能力 20t/5h

焼却施設設備概要

- 受入供給設備
 - ごみ計量機……………4基
(工場棟2基、受入ステージ棟2基)
 - ごみ投入扉……………3基
 - 可燃性粗大ごみ破砕機……………1基
 - ごみピット(1,500m³)……………1基
 - ごみクレーン……………2基
- 燃焼設備
 - 給じん装置……………2基
 - 全連続燃焼式流動床炉……………2基
- ガス冷却設備
 - ガス冷却室……………2基
 - 減温用空気加熱器……………2基
- 排ガス処理設備
 - 集じん装置……………2基
 - 触媒脱硝塔……………2基
 - 活性炭噴霧装置……………1式
 - 消石灰噴霧装置……………1式
 - 尿素水噴霧装置……………1式
- 通風設備
 - 押込送風機……………4基
 - 二次送風機……………2基
 - 減温用送風機……………2基
 - 誘引送風機……………2基
 - 煙突(59m)……………1式
- 灰出設備
 - 重金属処理設備……………1式
 - 磁選物バンカ……………1基
 - 不燃物バンカ……………1基
 - 灰バンカ……………2基
 - 製品バンカ……………2基
- 電気計装設備
 - 受変電設備、自動燃焼設備……………1式
- 給排水設備……………1式
- 余熱利用設備
 - 場内給湯、場内暖房……………1式

■：基幹的設備改良(長寿命化)工事により更新または改良した設備

施設配置図



施設の特長

1 ごみの適正処理と施設の安定稼働

- 焼却運転の自動化、燃焼状況の連続監視により、適正な運転を行います。
- 安定的なごみ処理を行うため、焼却施設の基幹的設備改良工事を実施し、設備の機能回復、延命化を図りました。
- 市民持込みステーションの設置により、持ち込まれたごみを効率的に処理することができます。

2 公害の防止と環境の保全に向けた対策

- 高性能の排ガス処理設備を採用し、高水準の排ガス基準値を遵守します。
- 施設内から出る汚水は排水処理設備で処理され、排ガス冷却水として再利用されます。
- 省エネ機器の導入や燃焼制御の改善により、改良工事前と比較して二酸化炭素排出量20%以上の削減を達成しています。

3 ダイオキシン類の削減対策

- 燃焼室の燃焼温度800℃以上を保ちつつ燃焼ガス滞留時間を2秒以上確保することでごみを完全に燃焼します。
- 集じん装置に送り込まれる燃焼ガスを200℃以下まで冷却することでダイオキシン類の再合成を抑制します。
- 活性炭の吹込み及び集じん装置での吸着除去、さらに触媒脱硝塔による分解除去により、ダイオキシン類の削減を行います。

